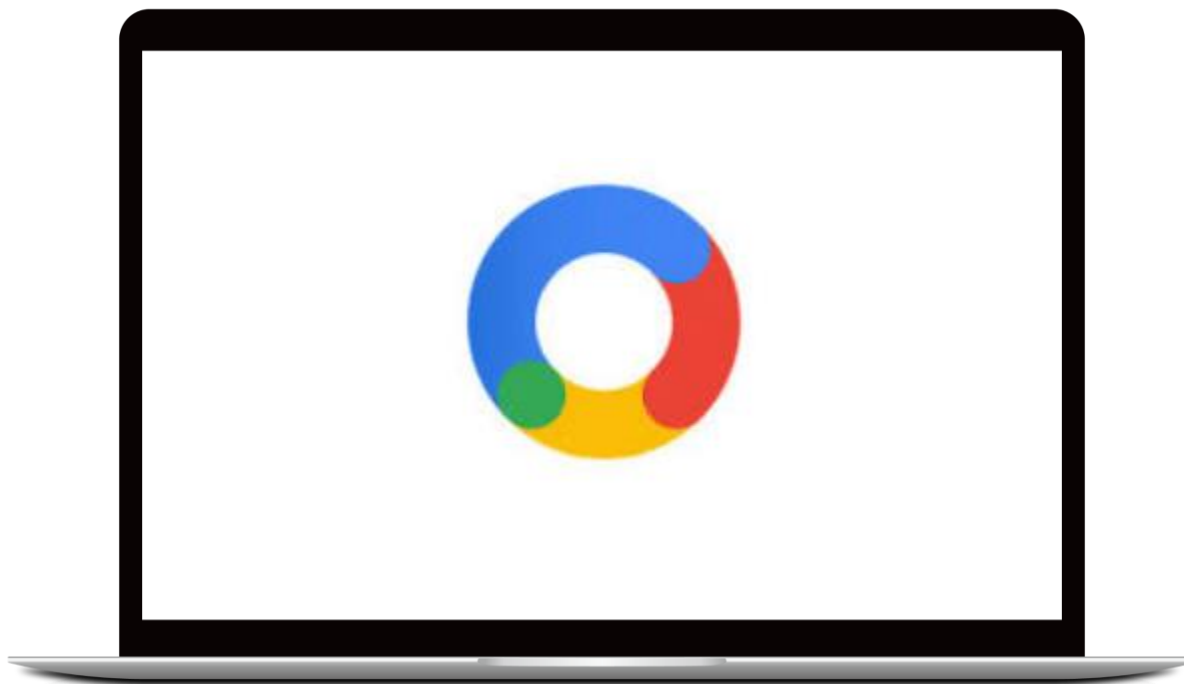


アクセス解析機能説明(Googleアナリティクス)

Google Analytics



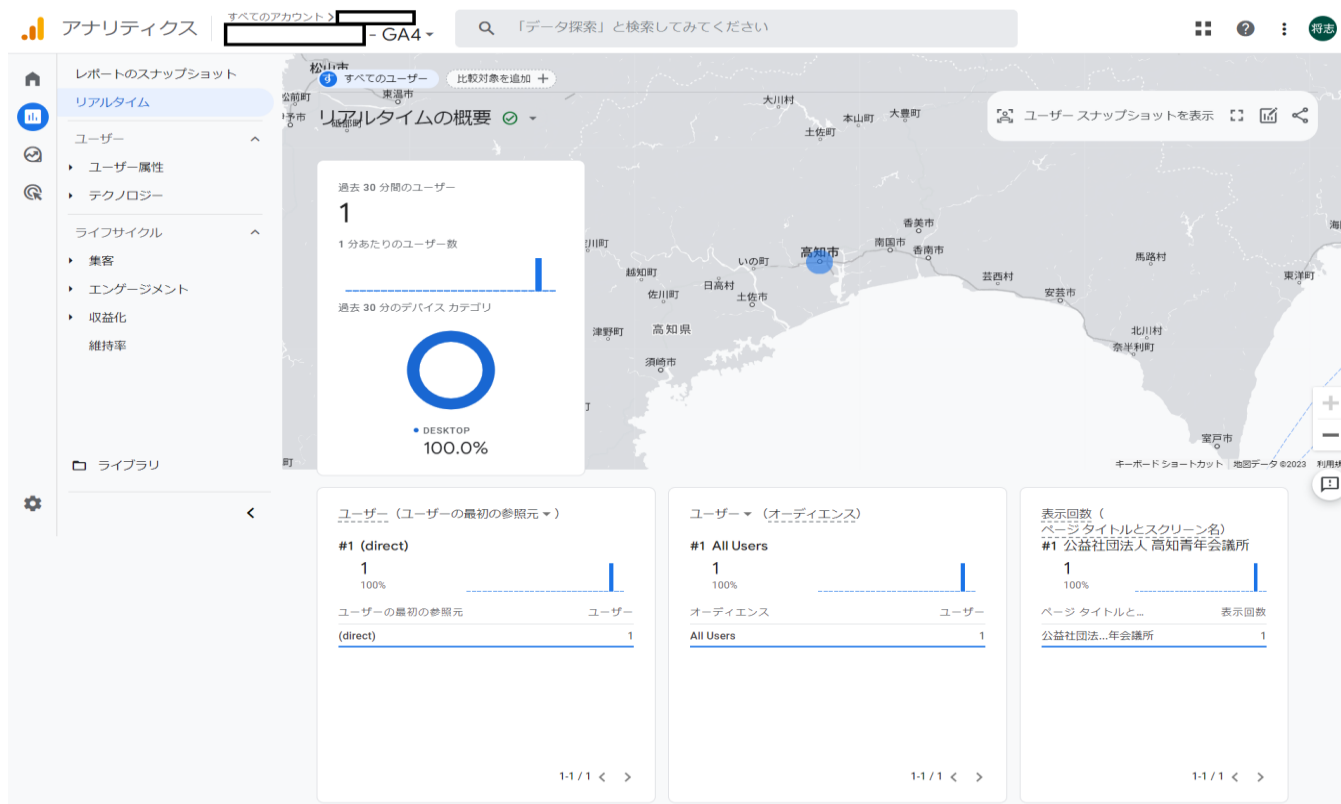


Contents

- 1.リアルタイムの利用状況がわかる
- 2.ユーザーの基本属性がわかる
- 3.ユーザーがどこから来たかがわかる
- 4.サイト内でのユーザーの動きがわかる
- 5.Webサイトの成果達成状況がわかる

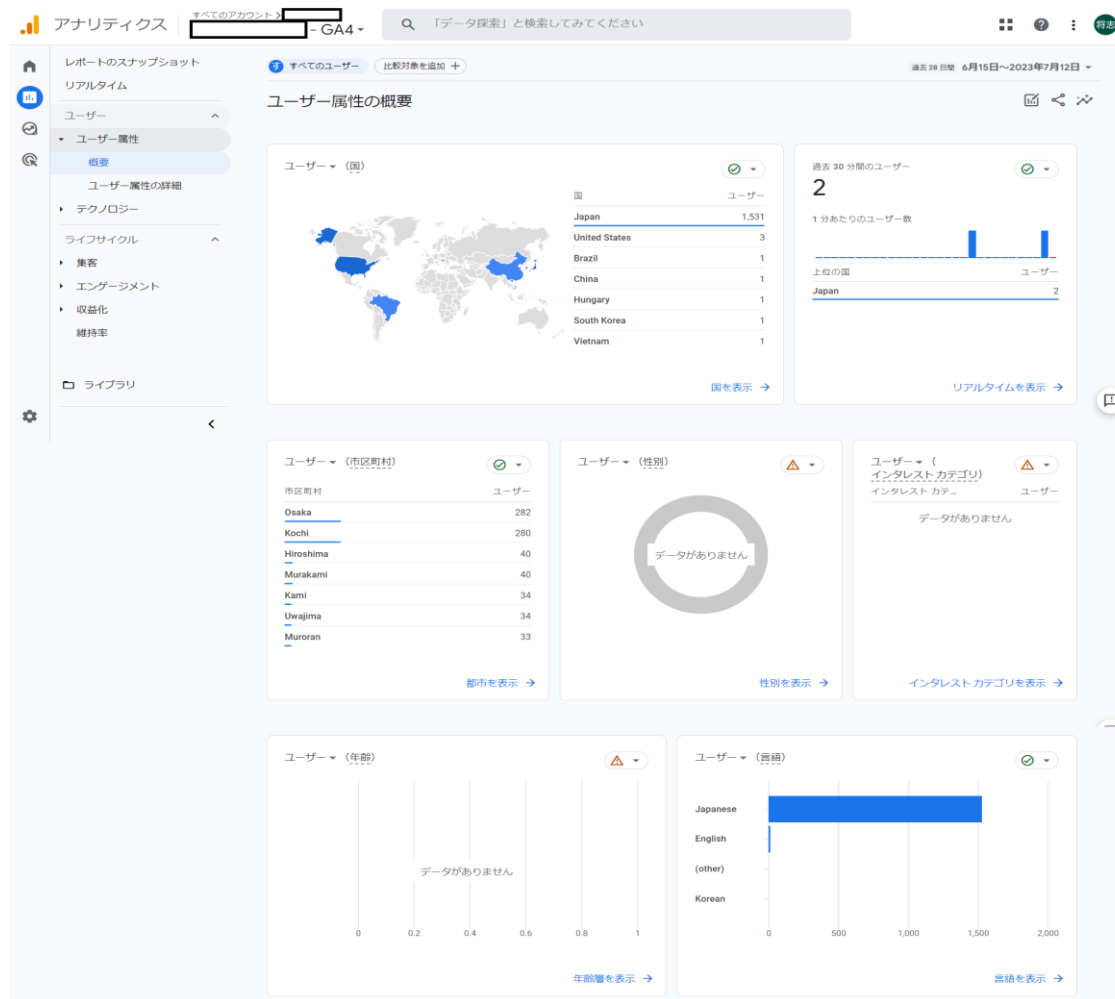
① リアルタイムの利用状況がわかる

「リアルタイム」レポートとは、文字通りリアルタイムの利用状況を知ることができるものです。
リアルタイムレポートを使うことで、**今現在何人のユーザーがWebサイトに訪れているかやどのページが見られているか**などを知ることができます。



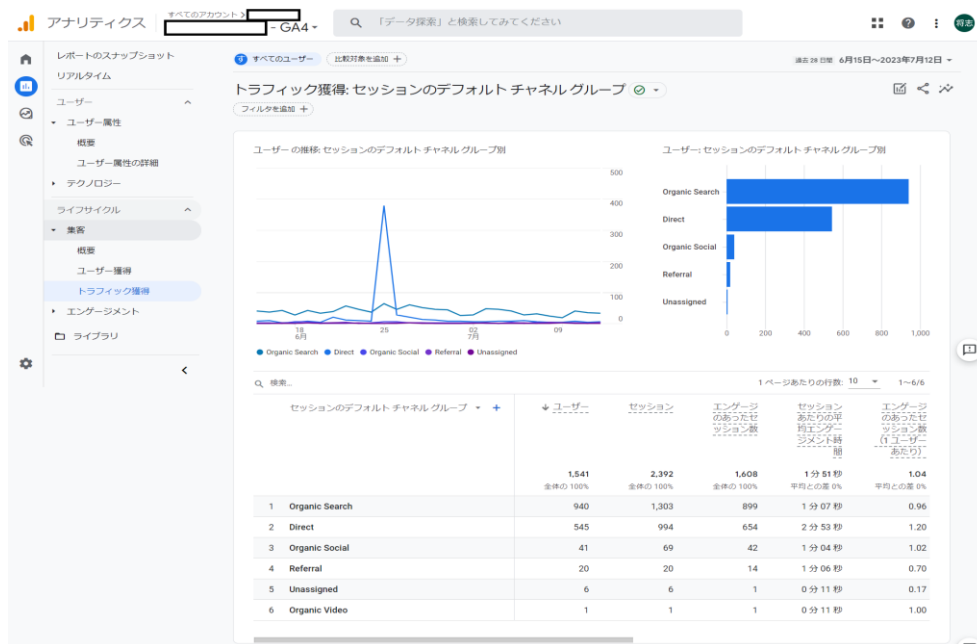
② ユーザーの基本属性がわかる

ユーザーレポートでは、**何人がWebサイトを訪れたかやどんなユーザーがWebサイトを訪れたかを知ることができます。**



③ ユーザーがどこから来たかがわかる

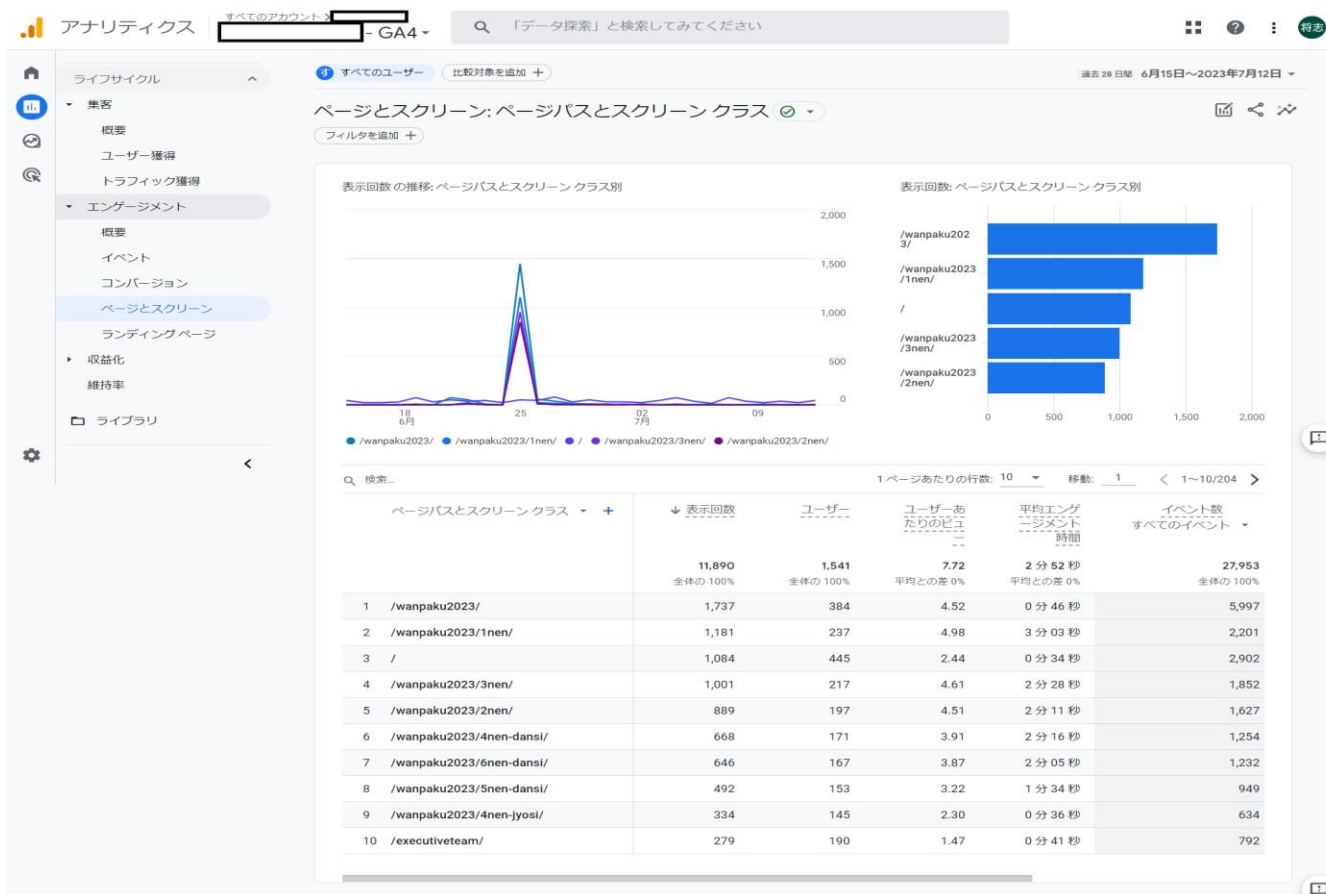
集客レポートでは、Webサイトを訪れたユーザーがどこからそのWebサイトにたどり着いたかを知ることができます。
(自然検索、広告など)



Organic Search	いわゆる自然検索です。Googleなどの検索エンジンで検索し、そこから流入する訪問です。
Display	バナー広告をクリックして流入した訪問です。
Direct	リンク元がない訪問です。お気に入り登録や、直接URLを入力した際の訪問が多いです。
Other Advertising	バナー広告・リスティング広告ではない広告からの訪問です。
Referral	他のサイトからのリンクを押して流入した訪問です。
Social	FacebookやTwitterなどのソーシャルメディアから流入した訪問です。
Paid Search	検索エンジンの検索画面に表示されるリスティング広告をクリックして訪問したものです。
Email	Emailに添付されたリンク等から訪問したものです。

④ サイト内でのユーザーの動きがわかる

「行動」のレポートでは、Webサイトに訪問したユーザーがWebサイトでどのような動きをしているかを知ることができます。具体的に、どのWebページがよく見られているかなども知ることができます。



⑤ Webサイトの成果達成状況がわかる

コンバージョンタグを設定することで、ECサイトなら「どのくらい商品が売れているか」、BtoBサービスの紹介サイトなら「どれくらい資料請求されているか」などの数値を計測できます。

